学校番号	２１０

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	Joy　of　Music（教育芸術社）						
副教材等	「The Basics of Music」（教育芸術社）、自主教材（ギター、音楽理論）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 「歌うこと」、「楽器を演奏すること」、「音楽を聴くこと」、「音楽の仕組みを知ること」を年間通して学習します。
- 到達度は、実技テスト、確認テスト、ワークシートで評価します。
- 音楽の学習は自分自身が楽しみ、そして意欲的、積極的に取り組むことが大切です。練習を重ねてできるようになった演奏は聴く人の心に感動を与えます。また自身の心も満たされます。まずはそのような心に響く経験をしてください。そして生涯に渡って音楽を愛好する心情を育んでほしいと思います。
- 鑑賞では様々なジャンルの曲を聴き、音楽の特徴や文化的、歴史的背景について学習します。
  日本の伝統音楽の種類やそれぞれの特徴についても学習を深め、音楽文化についての幅広い知識と教養を身に付けてほしいと考えています。
- 音符や楽譜の仕組みを理解し、「楽譜が読める」「楽譜を書くことができる」ようになることを目指します。

２　学習の到達目標

（知識及び技能）
・楽器および楽譜の仕組みを理解し、実践的な演奏技能を身につけ演奏ができるようになる。
【思考力、判断力、表現力等】
・音楽的な感性を高めるとともに、合唱、器楽アンサンブルなどを通して互いの存在を意識しながら、表現をしていく能力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
・音楽活動を通して音楽を愛好する心情を育むとともに、古今の名曲に触れる機会を持ち音楽文化についての関心を高め、自主的に学び続けることができる態度や、音楽を通して物事を見つめ、考え解決する力を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	音符の種類や長さ、拍子の概念などを理解するとともに、和楽器（箏・三線）の楽譜の読み方を習得する。 鍵盤楽器の基本的な運指についての知識を習得する。 歌唱における姿勢や発声の際の身体の使い方を身につける。 鑑賞においては楽曲の作曲者について、また歴史的背景についても理解する。	創意工夫を生かした音楽表現をするためには、知識として学んだどの技術を使えばよいかを自分自身で判断して練習に取り組むことができるようになる。 音楽を形作っている要素を理解し、その曲を最も美しく表現するためにはどうしたらよいかを意図して演奏することができる。	ジャンルにかかわらず、授業で扱う曲に興味関心をもって取り組む姿勢を身につける。 技術の向上が表現の充実につながることを理解し、技術の習得に積極的に取り組む姿勢を育てる。 鑑賞においては、落ち着いた態度で楽曲を聴くことができ、感じた気持ちを他者へ伝えることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	言葉と音楽①	【歌唱】 北秋の(日本語) DasVeilchen(ドイツ語) Lascia chio pianga (イタリア語)	a:それぞれの曲の特徴を総合的に理解し表現するために必要な発声の技法を身につけているか。 b:異なる3つの原語で書かれた曲を歌いながら、その表現内容や言葉の特徴に関心を持ち、それぞれの持ち味を生かした表現を工夫しつつ取り組むことができているか。 b:言葉と旋律の関わり合いを知覚し、それぞれのもつ特質を感じ取って音楽表現に生かすことができているか。 c:各国の言語および発音に関心を持ち、主体的に練習に取り組もうとしているか。	実技テスト 観察	実技テスト	観察
	鍵盤楽器を弾く	【器楽②】 ・ハ長調のスケール ・チューリップ ・どんぐりころころ ・ミッキーマウスマーチ	a:キーボードでメロディや和音を弾く技術を身につけているか。 b:キーボードで得られるさまざまな音色を使って、曲にふさわしい表現ができるよう工夫しているか。 c:鍵盤楽器の奏法に関心を持ち、主体的に練習に取り組もうとしているか。	実技テスト 観察	実技テスト	観察
	ギターの名曲に挑戦	【器楽】 禁じられた遊び (ギターソロ)	a:三連符、セーハなどこの曲を表現するために必要な技術を身につけているか。 b:メロディの流れを感じ取り、伴奏の効果も考えながら表現を工夫しているか。 c:楽曲の構成および、この曲が主題曲として使われた映画の内容にも関心を持ち、主体的に練習に取り組もうとしているか。	実技テスト 観察	実技テスト	観察

二学期	言葉と音楽②	【歌唱】 Hey Jude (ギター弾き語り)	ａ:ギター伴奏の技能を身につけ、英語の発音や言葉の特徴などを総合的に理解して演奏しているか。 b:楽曲を構成するさまざまな要素を知覚し、それらの働きによる世界観を感受しながらどのように歌うか工夫しているか。 ｃ:英語のポピュラーソングの特徴に関心を持ち、表現意図を持って弾き語りの学習に主体的に取り組もうとしているか。	実技テスト 観察	実技テスト	観察
	日本の音風景～秋～	【鑑賞】 箏曲「秋風の曲」 能「松風」 長唄「秋の色種」	a:邦楽の歴史、特徴を理解し、その歴史的背景に関心を持ったうえで曲の内容について理解できているか。 ｂ:日本の楽器の持つ音色やリズムを知り、それらが生み出す独特の雰囲気を感じ取り、日本の伝統音楽に対する理解を深め、そのよさを味わって聴いているか。 ｃ:日本の音楽と自然や風土との関わりや、日本の音楽の特質と美しさに関心を持って鑑賞の学習に取り組もうとしているか。	ワークシート 確認テスト	ワークシート	ワークシート 観察 確認テスト
	四重奏に挑戦	【器楽】 キーボード合奏 ・カノン ・The raiders march	ａ:掛け合いの箇所は他のパート演奏を意識して、流れるように演奏できているか。 b:自分のパートを責任を持って演奏をし、全体の音を聞きながら合わせて演奏することできているか。 ｃ:積極的に練習に取り組みクラス全員で一曲を仕上げることに主体的に取り組もうとしているか。	実技テスト 観察	実技テスト	観察

三学期	物語と音楽	【鑑賞・歌唱】 オペラ座の怪人 オペラ 「トゥーランドット」より Nessun dorma	ａ：物語の中におけるこの曲の演奏効果を知り、それにふさわしい表現をするために必要な発声、呼吸法などを身につけているか。 b:イタリア・オペラ独特の雰囲気を感じ取り、物語の進行における音楽の効果を理解してどのように歌うか考えて取り組んでいるか。 ｂ：登場人物の声とオーケストラの関わりを知り、物語の進行における音楽の効果なども理解しながら表現できてるか。 ｃ：オペラのアリアの表現内容に関心を持ち、表現意図を持って歌う学習に取り組んでいるか。	実技テスト 確認テスト	実技テスト	ワークシート 観察
	和楽器の魅力を感じよう	【和楽器の響き】 ・箏 「さくらさくら」 三重奏 「いつも何度でも」 ・三線 「海の声」「島人ぬ宝」	a:箏の音色に関心を持ち、様々な奏法を理解して演奏できているか。 ａ：三線について関心を持ち、各部名称を覚え、三線の歴史について自発的に学ぼうとしているか。 三線の音色に関心を持ち、基礎的な奏法を理解して演奏できているか。 ｂ：他者との調和を意識しながら表現できているか。 c:自発的に練習に取り組めているか。	ワークシート 実技テスト 確認テスト	実技テスト	ワークシート 確認テスト 観察
	卒業の歌を歌おう	【歌唱】 花は咲く（三部合唱） ＣＯＳＭＯＳ（三部合唱）	ａ：各自の声の持つ特質を知りつつ、全体のバランスがとれるような歌唱の技術を身につけているか。 b:二部合唱のハーモニーをより深く感じ取って、楽曲の持つ世界観を表現しようとしているか。 ｃ：卒業にふさわしい歌を歌うことを通じて、残る高校生活より有意義なものにしようとする意識をもって取り組んでいるか。	実技テスト 観察	実技テスト	観察 確認テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度